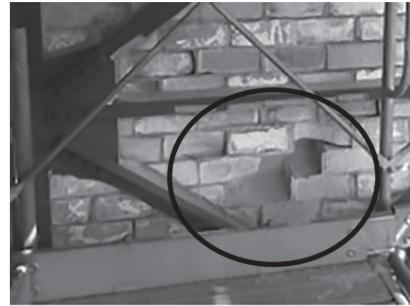


# 今回実施した主な工事内容

## ①れんが補修

葦山反射炉築造当時のれんがを極力残しながら、劣化進行を防止するため、れんがの劣化度合いに応じて、必要最小限の修復を行いました。

〈修復箇所の例〉

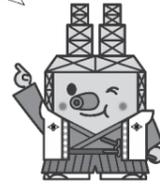


工事前



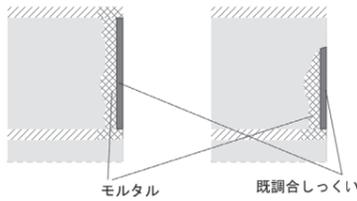
工事後

葦山反射炉を未来に継承するための工事だよ！



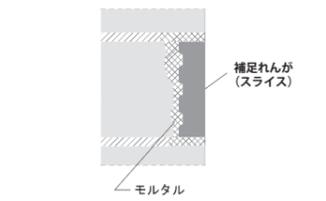
## 劣化度合いごとに実施した3種類の工法

(ア) 比較的劣化が少ないもの  
(表面からの劣化深度2cm以上3cm以下)



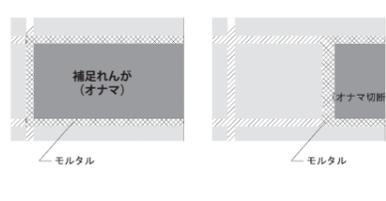
モルタルとしっくいで表面を補修しました。(計850箇所)

(イ) 劣化が進んでいるもの  
(表面からの劣化深度3cm超4cm未満)



補足れんが(スライス)を貼付し固定しました。(計240箇所)

(ウ) 劣化が大きいもの  
(表面からの劣化深度4cm以上)



全部または一部を新しいれんがに差し替えました。(計208箇所)

## ②鉄骨塗装

反射炉本体の補強鉄骨は、前回塗装施工してから約30年が経過し、耐用年数を経過しているため、今回、すべての塗装を剥離し、鋼材に錆や劣化がないか状態を確認した上で、適切な下地処理とフッ素樹脂塗装を施しました。

## ③しっくい塗り試験施工

反射炉本体を適切に保存する方法として、建造当時と同様にれんがが表面をしっくいで覆う方法も検討しており、将来、どのようにれんがを保護することがよいか検討するための試験として、炉体表面の一部にしっくい施工を行いました。



工事終了を前に説明会を開催(10月9日)



工事幕で覆われてから1年…  
**葦山反射炉保存修理工事が終了しました**

文化財課  
☎055(948)1425

国指定史跡「葦山反射炉」は、平成27年7月に「明治日本の産業革命遺産」の構成資産として世界遺産登録されました。市では、葦山反射炉の適切な保存を目的として、令和2・3年度に保存修理工事を実施しました。

※工事実施前に撮影

## ●保存修理工事の概要

名称／史跡葦山反射炉保存修理工事  
工事期間／令和2年10月1日～令和3年10月29日  
施工業者／清水建設株式会社  
施工監理業者／(公財)文化財建造物保存技術協会

## 事業経過

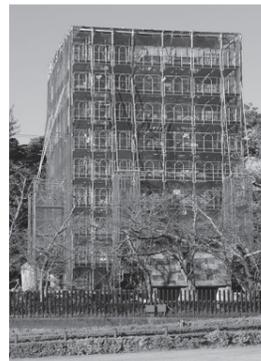
平成30年度 基本設計を実施  
令和元年度 実施設計を実施  
令和2年度 保存修理工事(足場設置、補足れんが製作、れんが劣化調査)

令和3年度 保存修理工事(れんが修復工事、鉄骨塗装、しっくい塗り試験施工、足場解体)

全体事業費／総額1億4,745万円

【内訳】国県費補助9,595万円、市費5,150万円(起債を含む)

※見込み



工事中的様子

## ●これまでに行われた大規模な修理・補修工事

明治41年／れんが補修、煙突部上中下層への鉄帯補強  
昭和32年／煙突外部への鉄骨トラス設置による補強、煙突内部への木枠ブロック設置による崩落防止措置、煙突天蓋(鉄板)設置  
昭和60年～平成元年／れんが補修、基礎・炉体・煙突内外部補強、鉄骨トラス差替(更新)、煙突天蓋(銅板)差替

## ●工事を終えた葦山反射炉を見に行こう！

開館時間／

【10月～2月】9時～16時30分

【3月～9月】9時～17時

休館日／毎月第3水曜日

※臨時休館とする場合がありますので、事前にご確認ください。

観覧料／一般個人500円、一般団体(20人以上)450円、小中学生50円

※市民無料

見学についての問い合わせ

葦山反射炉ガイドダンスセンター

☎055(949)3450